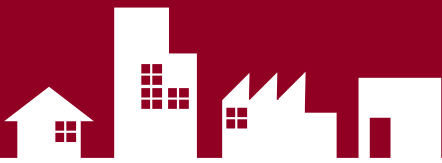


ぶぎんのあるまち



シリーズ第1回 秩父 -上-

わがまち秩父の魅力

(文) 秩父支店長 岡田 和久

わがまち秩父は、周囲の山岳丘陵を眺める盆地で、荒川支流の清流がもたらす銘水と澄んだ空気に恵まれています。その魅力は、雄大な自然、そして長く息づく歴史と伝統文化です。一年を通じて変化を楽しめる自然は、春は桜、夏は清流の川遊びやホテル鑑賞、秋は紅葉、冬は氷柱が代表的なもの。

自然がもたらす豊かな食文化も魅力です。日本酒、ワイン、ウィスキーに加え、酒文化につきものの極上の蕎麦や味噌、漬物も楽しめます。

秩父の歴史や伝統の象徴は、日本三大夜祭の一つで秩父神社の例祭である「秩父夜祭」です。このほどユネスコの無形文化遺産に登録されました。また秩父札所巡りで有名な秩父三十四ヶ所観音霊場でも多くの巡礼者を見ることができます。

最近アニメの聖地としても注目されている秩父。関連商品も作られ若い世代を呼び込む起爆剤となっています。以上のように多種多様な魅力に富んだまちですが、わがまち秩父の一番の魅力は地域の人たちの温かい心と言えるでしょう。

武蔵野銀行 秩父支店

1952年(昭和27)4月に同行開業と同時に秩父市宮側町に開店。

その後本町に移転するが、2001年(平成13)9月に宮側町に再移転し、現在に至る。



わがまち 散策



①ほっとすぽっと秩父館

明治時代書記に建築された商人宿。地域の交流・観光の拠点となっている。

②旧国際劇場

まちなかで一際目をひくデザインである。30年ほど前に閉館するまで、映画館として秩父市民に愛された建物である。

内部は天井が高く開放的で、2013年(平成25)にイタリアンレストランとしてリニューアルされた。



③上石商店

大正時代に建てられた旧国際劇場の隣の和風スタンドグラスが目をひく旧建材屋。

⑤小池煙草店 - 国登録有形文化財 -

片流れ作り金属板葺きの木造2階建てのたばこ屋である。交差点隅部を局面として煙草売場カウンターを設けている。昭和初期の近代商店建築の好例と評価が高い建物である。



⑥カクテルバー snob (旧大月旅館別館)

- 国登録有形文化財 -

1926年(大正15)に旧大月旅館別館として建てられた。

当時は1階が遊技場、2階が従業員部屋であった。アールデコ調の建物で、入り口が角に設けられている。



⑧旧片山医院

1910年(明治43)に建てられたハイカラな洋風建築。



⑨安田屋 - 国登録有形文化財 -

看板建築が並ぶ四つ角に建つ肉屋である。1916年(大正5)の創業以来、地元で愛された。





4 泰山堂

泰山堂カフェは、昭和初期に建設された建物で国の登録有形文化財になっている。かつては銘仙の商屋だったとのこと。秩父銘仙の取引所として建てられた長屋で、現在はカフェとして使われている。

レトロでノスタルジックな佇まい。前に立った途端、着物を着た人がお店の中に入って行く様子が目に浮かぶよう。ステンドグラスの古い扉の奥は、素敵な空間が待っているはず・・・そんな予感。

絹で栄えた レトロで モダンなまち



PickUp

国登録有形文化財ちちぶ銘仙館 (旧埼玉県繊維試験場秩父支場)



1930年(昭和5)秩父絹織物同業組合(現秩父織物商工組合)が秩父地方の繊維産業の向上と振興を図るために建築。

帝国ホテルアメリカ人建築家ライトの建築様式を踏襲して作られた大谷石積みの外装や昭和初期的特徴的な装飾との調和が建築的に非常に高い評価を得ている。

正面のベランダや玄関のデザインが華やかである。三角屋根の工場棟や渡り廊下も含めて2001年(平成13)10月に国の登録有形文化財に登録される。



「銘仙」*とは、絹の平織物の総称で、大正から昭和にかけて女性の普段着やおしゃれ着として全国に普及した。古代より「知々夫絹」の産地であった秩父地方。養蚕や絹糸が主要産業だった江戸時代初期に絹織物も盛んになり、丈夫な織物として江戸で評判になり武家に珍重され、また庶民にも愛された。



明治時代になると、秩父の織物は「ほぐし捺染」の技術の特許化し、現在の「秩父銘仙」の誕生となる。大正時代、新しい女性のおしゃれ着の代名詞として「秩父銘仙」が全国的に広まり、昭和初期にかけて全盛期となる。当時は年間200万着分を生産していた。独特のほぐし模様が人気となったと言われている。

注)「ほぐし捺染」=経糸(たていと)に型染をしてから、緯糸(よこいと)を織るという秩父銘仙の特徴とされる技法。経糸と緯糸の色が重なりで角度によって色が変わって見える玉虫効果が見られる。染められた糸をおる「先染め」の着物のため生地に裏表がないのが秩父銘仙の特徴で、表が色あせても裏を使って仕立て直しができるという利点もある。

*主な産地=秩父、栃木県足利、群馬県桐生、伊勢崎、東京都八王子
(取材参考資料:埼玉モダンたてもの散歩<埼玉県>)



7 パリー食堂 - 国登録有形文化財 -

1927年(昭和2)にカフェとして開業した。屋根は正面側が高く、モルタル塗りの外壁が大きく立ち上がり3階建てを思わせる外観となっている。現在も昭和レトロな雰囲気のある食堂として活躍している。パリーの「パ」の字が目立つ看板建築である。



10 旧岩田医院 医院建築。

11 近藤歯科医院

1927年(昭和2)に建てられた歯医者さん。

